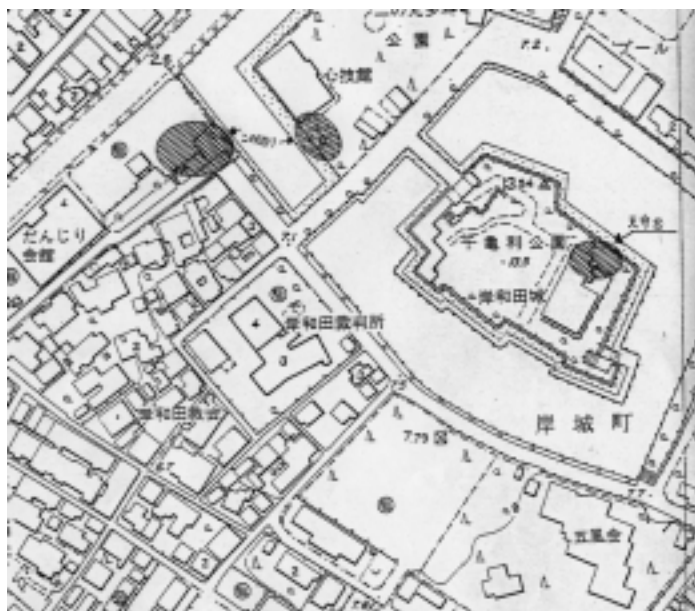


岸和田城の隠れスポット

みなさんに岸和田城の隠れスポットを紹介しましょう（図1）。みなさんはもちろん岸和田城には行ったことがあるかと思いますが（まだの方はぜひこれを機会に）。でもその石垣をじっくり眺めたことはありますか？今回は今なお現在、岸和田城の石垣に刻まれている昔のメッセージを探してみましょう。まず、岸和田城の二の丸に行ってください。そこには心技館と呼ばれる武道場が西側に建っています。その心技館（写真1）の前に堀から内側に向かっての石垣があります。その石垣の表面を丹念に観察して下さい。模様が刻まれていることに気づくと思います（写真2）。これは刻印石といって、石垣を築く際に、そこの工事を負担した石工や、大名などが、「これはうちの石ですよ」とか「これはうちの作業場ですよ」というような目印として刻み込んだものなのです。ただし、この刻印石はこの堀面の石垣の改修工事に伴い発見された物を、皆さんに見ていただ



↑ 写真1 心技館

↑ 図1 刻印石の見られるスポット

けるように、積み直したものです。ですからいろんな記号や家紋？文字などが見られると思います。ぜひ解読してみてください。ここでいろんな刻印石を見つけたら、次に天守閣のある天守台北側の石垣に行ってください。ここにも何個か刻印石があります。わかりやすいのは「源氏車紋」かな？探してみてください。あと、文字は「大」などがあります。数カ所の刻印石スポットを図1に紹介しておきますので、ぜひ行って探してみてください。ちなみに、大阪城や和歌山城にも多くの刻印石があります。



↑写真2 心技館前で見られる刻印石

今後、日本各地のお城へ行ったときは、建物だけじゃなく、石垣もじっくり観察してください。いろんな刻印石が見られると思います。きっと見たことのある大名家の家紋なんかもありますよ。

(山岡邦章 郷土史資料室)

■アメリカザリガニの「生きる力」■

岸和田市域には2001年現在、702個のため池がありますが、そこで必ずといっていいほど見られる生物がいます。そのひとつが「アメリカザリガニ（エビ目ザリガニ科・*Procambarus clakii*）」です。岸和田城堀のような市街地のため池から蜻蛉池公園周辺の大きなため池、山間部にあるタタミ3畳くらいの大きさのため池でも、ふつうに見られます。

このアメリカザリガニは、その名が示すとおり、原産地がアメリカ合衆国の生物で、1930（昭和5）年にニューオーリンズ市からウシガエル（食用ガエル）の養殖エサとして、神奈川県鎌倉市周辺に移植されたのが最初です。このうち逃げ出した数10匹が各地に広がり、現在では本州・四国・九州の平野部のため池や水田で普通に見られるようになっています。岸和田でも、ため池のほかに水田、用水路・春木川や津田川・牛滝川の中～下流でふつうに見られ、とくに、久米田池と牛滝川をつなぐ水路では、夏～秋にかけて水面が赤く見えるくらいたくさん生息しています。

さて、この外国からきた生物は、なぜ日本中に生息域を広げることができたのでしょうか。それは、彼らの「生きる力」に原因がありました。

1. 何でも食べる

雑食性で、動物の死骸、ゴミ、水草など、何でも食べます。

2. 空気呼吸ができる

水中の酸素が少なくなると、頭の片側を水面に出して空気呼吸をします。だから、水のきかない市街地の水辺でも生きられます。

3. 水がなくなってもしばらくは大丈夫

水がなくなったときには、泥に穴を掘ってそこからしみ出してきた地下水を利用して生き延びます。

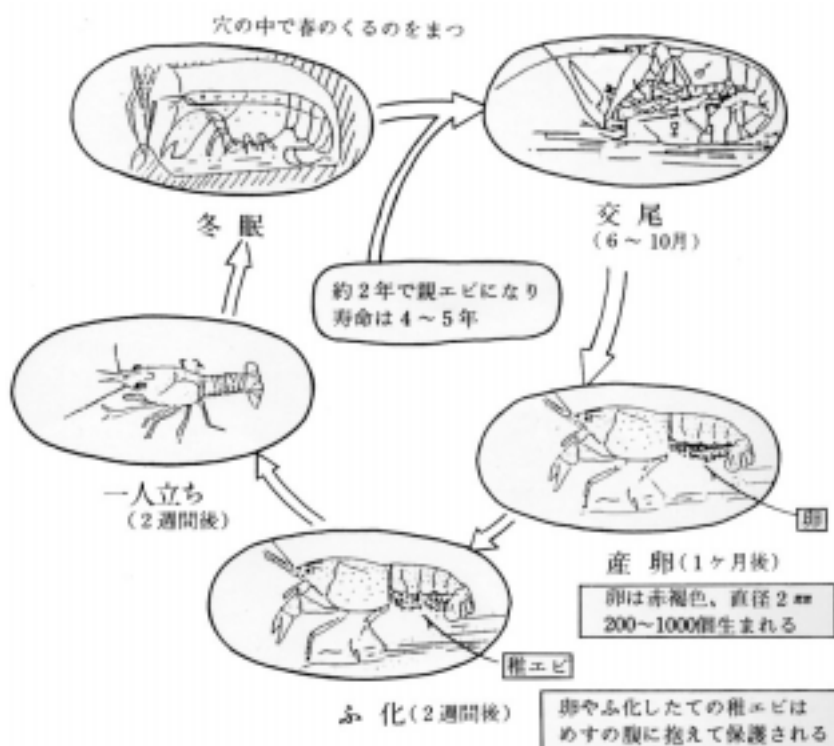
4. 繁殖力が大きい（つまり増えやすい）・保護される期間が長い

交尾は6～10月にかけて何回も行われ、メスも栄養状態がよければそのたびに卵を産みます。交尾からおよそ1ヶ月後に、メスは200～1000個の卵（直径2mm）を産み、ほかの生物に食われないよう腹の下で保護されます。2週間前後でふ化しますが、稚エビはその後2週間くらい細い糸のようなもので母体とつながり、おなかの下で保護されます。その後1年で体長4cm、2年で6cmになり、親エビになります。冬近くに産卵した場合は、卵のまま越冬し、翌年春にふ化します。

このように、「生きる力」の高いアメリカザリガニですが、天敵もあります。同じくアメリカ合衆国からやってきたウシガエルや、肉食性の水辺の鳥（サギ類・カイツブリ・カワウ）、カメ（クサガメ・ミシシippアカミガメ）にとって、アメリカザリガニは格好のエサです。水が抜かれたため池や用水路を観察していると、食べられてばらばらになったアメリカザリガニの死骸がよく見られます。

なお、日本には、ザリガニのなかまがあと3種類（ニホンザリガニ・タンカイザリガニ・ウチダザリガニ）いますが、いずれも山間部で水温が低く、水質の良い場所でしか生息できないため、岸和田では見られません。今は土に穴を掘って冬眠していますが、春になったら近くの水辺でアメリカザリガニ探しなどができそうです。

（西中美穂 自然資料館）



←大阪府立淡水
魚試験場 リー
フレットより

自然資料館ホームページ URL:
<http://www.sensyu.ne.jp/k-nature/>
 (リニューアルしました！ Yahoo Japan の検索で
 「きしわだ」と入力すれば、カンタンです)